

元ちゃんの

今年の天気「春」

奥深き、旧暦よ!

旧暦： 睦月一日～弥生三十日

新暦： 令和2年1月25日～令和2年4月22日

の影響により都心で積雪。3月下旬以降に1センチ以上の積雪を観測したのは1988年4月8日以来32年ぶりだそうです。今季2度目の雪景色の中に咲く桜となりました。そして新暦4月以降は、平年を下回る気温の日々が続きました。新型コロナウイルスが猛威をふるった「春」でもありました。

1. 元ちゃんの旧暦予想「春」

早咲梅招 (春を招く早い梅花開花)



令和2年の春節(旧暦元日)は新暦1月25日。一般的な春の始まりは新暦2月上旬頃ですから、令和2年は早めの春の訪れとなりそうです。梅や桃、桜の花も早めに咲くでしょう。本格的な暖かさは、新暦2月下旬頃から。春の終わりも新暦4月22日と早そうで、足早に春は過ぎ去っていきます。暖かな春と予想します。

正月(むつき)立ち 春の来らば かくしこそ 梅を招きつつ、楽しみ終(を)へめ (大武紀卿:万葉集)
(写真:旧暦元日の収録<新暦1月25日>)

2. 今年の「春」

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
うぐいすの初鳴(銚子)	2/25	如月 二日	+1
ツバメの初見日(銚子)	3/19	如月廿五日	-13
ソメイヨシノの開花日(銚子)	3/27	弥生 四日	-4
ソメイヨシノの満開日(銚子)	4/3	弥生十一日	-5

平年差： +<遅い> -<早い>

【気象官署の季節観測】

冬の訪れが遅かったのか、春が早く始まってしまったのか、はたまた冬がなかったのか…

新暦1月は冬型の気圧配置が続かなかったため降雪量は極端に少なくなり、一方気温については東・西日本で1946年の統計開始以降1月として1位の高温になりました。そして新暦2月も暖かくなりました。新暦3月もまた暖かくなり、全体的に暖かな「春」でした。とはいえ、時々には冬に戻ってしまったりするもので、例えば、東京でさくら(ソメイヨシノ)の開花が発表された新暦3月14日には雪が降りました。東京では統計がある1953年以降最も早い開花となる一方、初の雪の日の開花となりました。新暦3月29日も、南岸低気圧

【元ちゃんの観測日記「桜(その2)」】 ~野田市花井のソメイヨシノ~

開花：新暦3月15日	旧暦 如月 廿一日
満開：新暦3月24日	旧暦 弥生 一日
散り終わり：新暦4月12日	旧暦 弥生 廿日

3. 元ちゃんの「春」



新暦令和2年元旦の空
睦月一日(2/1/25)



江戸川河原に所喝采
如月廿七日(2/3/21)



紅白の桃
弥生五日(2/3/28)



雪と元ちゃん桜
弥生六日(2/3/29)

4. 元ちゃんの旧暦予想「夏」 新暦2.4.23~2.8.18

炎長卯腐 (長く続く卯の花腐たし)



夏の始まりは新暦4月23日。この夏は暑くなりそうです。まず、夏の始まり。一般的な夏の入りは新暦5月上旬頃ですからこの夏は早くスタートします。そして、注目すべきはなんといっても閏四月。閏月が入れば季節が荒れることが多いです。そして夏の終わりは新暦8月18日。ながい長いですね。“梅雨入り”は少し遅めかな。長いかも。オリンピックは暑さに厳重注意です!

卯の花を 腐(くた)す長雨の 始水(みづはな)に寄る木屑(こつみ)なす 寄らむ子もがも (大伴家持:万葉集)

ASPA 追記(20.5/11): 本年開催予定の「2020年東京オリンピック」は、このたびの驚異的なコロナウイルス感染流行により、2021年に延期となりました。